

臨床研究（調査研究）へのご協力をお願い

この度 神奈川県立こども医療センター 産婦人科では 「妊娠 34 週未満の早産期前期破水」の患者さんとそのお子様を対象に「早産期前期破水症例の予後」についての調査（研究）を行っております。

- ・研究の目的 早産期前期破水症例での至適娩出時期やどのような妊娠分娩管理方法が赤ちゃん発達にとってよいかを調べる。
- ・研究に利用する情報
 - 母体の情報（年齢、経産回数、合併症、破水時期、妊娠経過、分娩経過、産褥経過など）
 - 児の情報（体重、身長、性別、治療内容、3歳.6歳時の発達指数など）
- ・研究対象の範囲 2000年～2014年に当院にて分娩となった早産期前期破水症例の母子
- ・情報の管理について責任 産婦人科部長 石川浩史・長瀬寛美・新生児科 柴崎淳

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルダレサ総会での修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日（2017年2月28日一部改訂））に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報が入外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先

研究責任者 産婦人科 石川浩史

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局

Tel : 045-711-2351 内線 2212